

講義科目 : 政治史(政治過程論を含む)	単位数 : 2
担当 : 長澤 高明	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

欧米の政治史を縦軸とし、それらが日本に与えた影響を横軸として考察する。私が一方向的に喋るという形はとらず、諸君と対話しながら講義を進める。

欧米の政治史を知ること、日本における近代国民国家の成立や議会制民主主義の確立、および大日本帝国憲法から日本国憲法への転換など、より深い理解ができるようになる。

授業計画

- 第1回 国家：主権国家と国民国家
- 第2回 主権国家と絶対王政
- 第3回 英米仏の市民革命
- 第4回 ウィーン体制
- 第5回 ドイツ・ビスマルク体制
- 第6回 植民地帝国主義
- 第7回 第一次世界大戦：世界分割と大戦の原因
- 第8回 第一次世界大戦から第二次世界大戦へ：ヴェルサイユ条約
- 第9回 第二次世界大戦：原因と特徴
- 第10回 冷戦の起源と独立国（1）中国政治史
- 第11回 冷戦の起源と独立国（2）韓国とインド
- 第12回 冷戦期年表
- 第13回 冷戦の終結と民族紛争
- 第14回 EUの成立とその歴史
- 第15回 EU加盟問題：トルコ問題

教材・テキスト・参考文献等

テキストは使用しない。毎回レジュメを配付する。参考文献はその都度指示する。

成績評価方法

毎回出席をとる。全授業回数の3分の2以上の出席がない場合は評価対象としない。成績は「出席状況（30%）＋小テスト2回（20%）＋レポート（3000字。50%）」の総合評価とする。

その他

これまで歴史科目を履修したことのない受講生もいるはずなので、基礎知識を確認しながら講義を進める。歴史科目を履修したことのある受講生は、できれば歴史教科書を読み直しておくこと。